

刑事施設における「アルコール依存回復プログラム」(H27現在)

＜交通安全指導におけるプログラム＞

＜一般改善指導におけるプログラム＞

対象者

交通安全指導対象者(被害者の生命や身体に重大な影響を与える交通事故を起こした者や重大な交通違反を反復した者)のうち、飲酒による交通事犯者で、アルコール依存回復プログラムを受講させることが交通安全指導の目標を達成する上で効果的であると認められる者

山形刑務所、市原刑務所及び古川刑務所を「実施庁」として指定。

対象者

非交通安全指導対象者のうち、飲酒の問題が本件や本人の心身の健康に影響を与えていると認められる者で、かつ、アルコール依存回復プログラムを受講させることにより規則正しい生活習慣、健全なものの見方や考え方が身に付くことが期待されるとともに、心身の健康の増進に効果的であると認められる者

山形刑務所、前橋刑務所、府中刑務所、福井刑務所、京都刑務所、松山刑務所及び沖繩刑務所を「実施試行庁」として指定。

目的

自己の飲酒の問題性を理解させ、その改善を図るとともに、再飲酒しないための具体的な方法を習得させる。

実施形式

- (1) 指導時間等
1 単元おおむね60分から90分、全12単元、おおむね3か月から6か月の期間で実施
- (2) 指導の形式
認知行動療法に基づき、グループワークの手法を用いる。
- (3) 指導者
職員の他、アルコール依存に係る民間自助団体等の協力も得ながら実施する。



プログラム内容

単元	内容	単元	内容
1 オリエンテーション	プログラムの目的とルールを理解し、全体の流れをつかむ。	7 再飲酒の兆候(2)	自分の行動的兆候は何かを知り、対処方法を学ぶ。
2 サイクルを止める	飲酒のサイクルについて認識を深め、断酒を実現するための方法について知る。	8 ストレスへの対処方法	ストレスと再飲酒の関係を理解し、自分のストレスの受け止め方の幅を広げる。
3 外的引き金	外的引き金の知識を身に付け、自分の外的引き金は何かを知り、回避する方法を学ぶ。	9 スケジュール	断酒生活の実現に向けたスケジュールを立てる。断酒生活を続ける心構えをつくる。
4 内的引き金	内的引き金の知識を身に付け、自分の内的引き金は何かを知り、回避する方法を学ぶ。	10 断酒生活の維持(1)	断酒生活を継続するための要点を整理し、今後の人間関係について見直す。
5 断酒生活	断酒生活の経過イメージと各過程に生じる心身の特徴的な状態を理解する。	11 断酒生活の維持(2)	断酒生活を維持する対人関係の問題点について理解し、飲酒を断る対処方法や飲酒問題の解決方法を学ぶ。
6 再飲酒の兆候(1)	再飲酒の兆候の知識を身に付け、自分の思考的兆候は何かを知り、対処方法を学ぶ。	12 まとめ	これまで学習した対処方法などを整理し、断酒生活を実現させるための心構えを確立する。